

2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
笠原 芳隆
(かさばら よしたか)
kasahara@juen.ac.jp

肢体不自由児の特性に応じた教育課程・指導法や生活を見据えた支援のあり方等について、自立活動の実践、個別の指導計画作成・活用、個別の教育支援計画作成・活用等の視点から研究・教育を行う。著書（分担執筆）：インクルーシブ教育システム下における肢体不自由教育の現状と課題（肢体不自由教育、北大路書房、2024年）



【教授】※1
河合 康
(かわい やすし)
kawai@juen.ac.jp

障害児教育の行政、制度、歴史を研究領域とし、わが国と欧米諸国について比較教育的観点から教育・研究を行う。主な著書：日本障害児教育史（戦前編）2018年（共著）、（戦後編）2019年（共著）（明石書店）、特別支援教育——一人一人の教育的ニーズに応じて——（編著）（福村出版、2019年）



【教授】
佐藤 将朗
(さとう まさあき)
smasaaki@juen.ac.jp

視覚障害児における触覚認知の観点から、点字触読に関する研究を中心に、空間把握及び人や物を含む環境への働きかけに関する研究を行う。これらの知見を適用し、重複障害児のコミュニケーション能力を伸長させるための実践的研究も行っている。論文：Research Findings on Braille Reading in Japanese. (Journal of Special Education Research 12(2) 2024)



【教授】
八島 猛
(やしま たけし)
yashima@juen.ac.jp

病弱・身体虚弱児における適応の評価と支援に関する研究を行う。特に健康行動と関連がある自己認知について実践的に研究する。論文：青年初期の病弱児における自己評価の発達特性に関する横断的研究（特殊教育学研究、第56巻5号、2019年）



【准教授】
小林 優子
(こばやし ゆうこ)
yuuko@juen.ac.jp

聴覚障害者を対象とした環境音認知に関する実験的研究や講義場面における情報支援に関する研究、また認知・行動面に困難を有する聴覚障害児の指導法に関する研究を行っている。著書：聴覚情報処理検査〔APT〕マニュアル（学苑社、2020年）



【講師】
村浦 新之助
(むらうら しんのすけ)
muraura@juen.ac.jp

知的障害児、知的障害のある自閉症児、強度行動障害の状態にある児童生徒への支援の在り方、その教育に係る教師への研修について研究を行う。論文：自閉スペクトラム症と最重度知的障害を併せ有する強度行動障害児への行動支援—外国にルーツをもつ家庭と学校の協働—（自閉症スペクトラム研究、第22巻第1号、2025年）



【助教】
尾原 健太
(おはら けんた)
ohara@juen.ac.jp

視覚障害児の読みに関する研究を中心に、弱視児のデジタル・リーディングのスクロール操作に関する研究を行う。また、視覚障害児や視覚認知に困難を抱える児童・生徒に向けたオンラインでの学習支援に関する研究を行っている。論文：デジタル・リーディングにおけるスクロール方略の分類と判別アルゴリズムの検討（日本教育工学会論文誌、第47巻2号、2023年）

